



2021年4月15日

各 位

会 社 名 大和ハウス工業株式会社
 (コード番号 1925 東証第一部)
 代表者名 代表取締役社長 芳井 敬一
 問合せ先 常務執行役員 IR室長 山田 裕次
 電話番号 (06) 6225 - 7804

2021年3月期業績予想・配当予想の修正及び提出会社における
 関係会社株式・出資金評価損（特別損失）の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年11月11日に公表いたしました2021年3月期の通期業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしました。また、提出会社におきまして関係会社株式・出資金の評価損を発生する見通しとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期の連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,000,000	258,000	243,000	130,000	198.04
今回修正予想(B)	4,100,000	345,000	322,000	182,000	277.26
増減額(B-A)	100,000	87,000	79,000	52,000	-
増減率(%)	2.5	33.7	32.5	40.0	-
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	4,380,209	381,114	367,669	233,603	351.84

2. 2021年3月期配当予想の修正

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		60円00銭	110円00銭
今回修正予想		66円00銭	116円00銭
当期実績	50円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	55円00銭	60円00銭	115円00銭

連結業績予想・配当予想の修正理由

2020年4月15日公表「持分法適用関連会社の解散および清算に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、当社の持分法適用関連会社である大連大和中盛房地產有限公司（以下、「大和中盛」という）は、現在裁判所主導での強制清算手続きが進められております。清算手続きの一環として、一部資産の競売手続きが進められており、資産の評価を見直す必要があることから、約120億円を持分法投資損失として経常損益に含めております。

一方で、世界的に新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の影響が続く中、当社グループにおきましては、COVID-19再拡大にともなうGoToキャンペーンの停止などによりホテル等の一部事業では売上高の減少が見込まれるものの、既受注の請負工事の施工と投資不動産の売却が順調に進捗した結果、前回発表予想より売上高が増加する見通しとなりました。

加えて、景気対策への財政支出や緩和的な金融政策の継続により年金資産の運用環境が改善したことに伴い、前回発表予想に見込んでおりました基礎率等見直しにかかる退職給付数理差異償却費用約150億円に加え、今回年金資産の運用から生じる運用益約420億円（費用の減少）を追加で売上原価及び販売費及び一般管理費として含めた結果、前回発表予想より営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも増加する見通しとなりました。（注）

当期の利益配当金については、連結業績予想の修正に伴い、前回予想から年間6円増配の116円とさせていただきます、また、それにあわせて期末配当予想も6円増配の66円とさせていただきます。

（注）当社は、退職給付会計における数理計算上の差異について、発生年度に一括処理を行っております。

3. 関係会社株式・出資金評価損（特別損失）の発生について

提出会社において、連結子会社である大和リゾート株式会社、他2社の株式及び関連会社である大和中盛の出資金について、COVID-19の影響及び前述の大和中盛の清算手続きの進捗を踏まえ、実質価額が著しく低下したため提出会社の個別決算上、減損処理を実施し関係会社株式及び出資金の評価損として約410億円を特別損失として計上いたします。

なお、当該損失による連結業績への影響はありません。

以 上